

科目名		医療情報学特論Ⅱ			担当教員名	宮本 正喜
該当DP	2	単位数	1単位	選択	配当年次	1年次・第1セメスター(後半)
曜日・時限		金曜日・5限目			教室	オンライン授業
授業概要		「医療情報学特論Ⅰ」に引き続き、医療情報を取り巻く法制度、医療情報を基礎としたEBM(Evidence Based Medicine)の考え方、目的を考える。さらに医療情報学の新しい技術、医療情報学に影響する新しい技術について学ぶとともに新しい技術がどうあるべきかを議論する。				
到達目標		1) 個人情報及び医療情報にかかわる法制度の基礎的知識を習得できる。 2) EBMと医療情報との関連が理解できる。 3) 医療情報の新しい技術について理解し議論できる。				
回	日程	見出し	内 容			実践的な 授業方法
1	6/20	個人情報保護法と守秘義務	個人情報保護法、改正個人情報保護法と守秘義務について学ぶ。 (特別講師:間島行則)			
2	6/27	医療情報と医療法制	医療情報のもととなる医療法制について学ぶ。 (特別講師:間島行則)			
3	7/4	EBM(Evidence Based Medicine) (1)	EBMの概念と歴史について学ぶ。 (特別講師:間島行則)			
4	7/11	EBM(Evidence Based Medicine) (2)	EBMの実際について学ぶ。 (特別講師:間島行則)			
5	7/18	医療情報学の潮流(1)	地域医療連携と地域包括ケアについて理解し議論する。[ディスカッション]			○
6	7/25	医療情報学の潮流(2)	医療とビッグデータについて理解し討議する。[ディスカッション]			○
7	8/1	医療情報学の潮流(3)	医療と意思決定、AI応用、医療ロボットを学び議論する。[ディスカッション]			○
8	8/8	医療情報学総括	ヘルスケアにおける医療情報学の課題について議論する。 [プレゼンテーション]			○
キーワード		EBM、AI、地域包括ケア			履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。				
	参考書(任意購入)	『医療情報 第5版 医学・医療編』、『医療情報 第5版 医療情報システム編』 上記ともに日本医療情報学会医療情報技師育成部会 篠原出版新社 2016年				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①期末試験(レポート) (70%)②授業中の討論への参加・貢献度(30%) [①授業内容を十分に理解しているか、②授業への積極的参加について評価します。]				
授業時間外に必要な学修		医療法、療養担当者規則などの法律について調査し、医療情報における法制度について調べておく。参考書、インターネットにより、関連する内容を調べておく。				
学生へのメッセージ		医療情報の分野でEBM、個人情報、新しい技術について勉強してください。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。